

第43回 森づくり / 2019年7月21日(日)

玉家の森づくり、今年2回目の活動をおこないました。

前日まで天候が危ぶまれていましたが、幸い当日の天気はなんとか回復し、無事に開催することができました。

雨は避けられたとはいえ、梅雨の晴れ間のじめじめと蒸し暑い曇り空の下で、参加した約100人は汗だくになりながら作業にあたりました。

この日の作業は「下草刈り」。生い茂った草木をみんなで刈り取っていきます。

この作業は子供たちも活躍し、1時間ほどで終了しました。

もうひとつの作業は、「玉家の森」の木で作った炭の箱詰めです。たくさんの炭が箱詰めできました。箱入れされた炭は、今後活用していく予定です。

作業終了後は、女性社員が準備したとうもろこしとみたらし団子、そして前回の活動で集めた「クロモジ」をお茶にして、みなさんに振る舞われました。

今回の作業に先立ち、本日の作業指導をしていただく金沢森林組合の河崎さんから次のようなお話をいただきました。

「玉家さんの森づくりは地域の先駆けとして活動していて、木を育てるだけでなく、伐採した木を炭に加工し燃料として活用したり、採取したものを食べたりすることが特徴で、今後も継続して行ってください」

来年は、新たな木の活用としてツリーハウスづくりもすすめていく予定ですので、これからも玉家の森づくり活動を応援していただけたらと思います。

